

# 年間指導計画例

芸術科の目標 芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

## 内容

### A 表現

表現に関して、次の事項を指導する。

#### (1) 歌唱

- ア 曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて理解し、イメージをもって歌うこと。
- イ 曲種に応じた発声の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、表現を工夫して歌うこと。
- ウ 様々な表現形態による歌唱の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、表現を工夫して歌うこと。
- エ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解して歌うこと。

#### (2) 器楽

- ア 曲想を楽曲の背景とかかわらせて理解し、イメージをもって演奏すること。
- イ 楽器の音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、表現を工夫して演奏すること。
- ウ 様々な表現形態による器楽の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、表現を工夫して演奏すること。

- エ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解して演奏すること。
  - (3) 創作
    - ア 音階を選んで旋律をつくり、その旋律に副次的な旋律や和音などを付けて、イメージをもって創造的に音楽をつくること。
    - イ 音素材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成を工夫して、イメージをもって創造的に音楽をつくること。
    - ウ 音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、イメージをもって創造的に変奏や編曲をすること。
  - エ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解して音楽をつくること。
- ### B 鑑賞
- 鑑賞に関して、次の事項を指導する。
- ア 声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解して鑑賞すること。
  - イ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解して鑑賞すること。
  - ウ 楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴について理解を深めて鑑賞すること。
  - エ 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解を深めて鑑賞すること。

学習指導要領(抜粋)

月	領域(分野)/ 配当時間	題材名	題材のねらい	学習指導要領 内容の指導事項																	
				A表現						B鑑賞						音楽を形づくっている要素	内容の取扱い (*は音楽I)				
				歌 唱		器 楽		創 作		A鑑賞		B鑑賞									
ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ						
4 5 6 7	表現(歌唱)/ 4時間	正しい発声法を身に付けよう	姿勢や呼吸法、発声法に気を付け、楽曲の特徴を感じ取り、イメージをもって歌う	●	●	●	●													音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱	(3)*
	表現(歌唱)/ 8時間	日本や外国の歌曲に親しみ、独唱に挑戦しよう	原語の語感を生かし、発音やフレーズの歌い方などを工夫しながら、楽曲にふさわしい表現を追求して独唱する	●	●	●	●													音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成	(3)*
	表現(歌唱、器楽)/ 6時間	ギターの弾き歌いをしよう	ギターの音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、表現を工夫しながら弾き歌いをする	●	●	●	●	●	●	●	●									音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱	(1), (3)*
	表現(器楽)/ 2時間	ボディーパーカッションに挑戦しよう	音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、表現を工夫してアンサンブルの喜びを味わう					●	●	●	●									音色、リズム、速度、強弱、構成	(3)*
	表現(器楽)、鑑賞/ 4時間	世界の諸民族の音楽に親しまう	世界の諸民族の音楽における身振りを伴う表現の特徴を理解し、多様な表現による音楽美を感じ取って鑑賞する					●	●	●	●					●	●	●	●	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成	(1), (3)*, (6)*, (7)*, (8)*
	表現(歌唱、器楽)、鑑賞/ 4時間	舞台音楽を楽しもう	バレエ、オペラ、ミュージカルなどをその背景となる文化や歴史を理解して鑑賞するとともに、その中の曲を演奏して表現の特徴を感じ取る	●	●	●	●	●	●	●	●					●	●	●	●	音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成	(1), (3)*
9 10 11 12	表現(歌唱)/ 6時間	表現を工夫して合唱やアンサンブルをしよう	各パートの役割を意識し、表現を工夫して合唱やアンサンブルの喜びを味わう	●	●	●	●													音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成	(3)*
	表現(歌唱、器楽)/ 4時間	三線の弾き歌いをしよう	三線の音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、表現を工夫しながら弾き歌いをする	●	●	●	●	●	●	●	●									音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱	(1), (3)*, (4)*
	表現(創作)/ 4時間	創作に挑戦しよう	音素材の特徴を生かして主題をつくり、それを変化させて構成を工夫しながら創作する									●	●							音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成	(2)*, (3)*, (5)*
	表現(歌唱)、鑑賞/ 4時間	歌舞伎に親しまう	歌舞伎の表現の特徴や文化的・歴史的背景を理解し、表現を工夫して長唄を唄う	●	●	●	●									●	●	●	●	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱	(1), (2), (3)*, (4)*
	表現(器楽)/ 6時間	アンサンブルを楽しもう	各パートの役割や全体の響きを考えながら、表現を工夫してアンサンブルを楽しむ					●	●	●	●									音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成	(3)*
	鑑賞/ 4時間	ベートーヴェンの生涯と作品をたどろう	作曲家の生涯や時代背景について学習しながら、それぞれの作品の特徴を聴き取る													●	●	●	●	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成	(6)*
1 2 3	表現(歌唱、器楽、創作)/ 8時間	編曲に挑戦しよう	表現形態などに応じた編曲をして発表する	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成	(1), (2)*, (3)*, (5)*, (8)*
	表現(歌唱)、鑑賞/ 4時間	郷土の民謡や芸能に親しまう	郷土の民謡・芸能の表現の特徴や文化的・歴史的背景を理解し、表現を工夫して歌ったり、鑑賞したりする	●	●	●	●									●	●	●	●	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱	(1), (2), (4)*, (7)*, (8)*
	鑑賞/ 2時間	音楽の世界を広げよう	様々なポピュラー音楽に親しみ、音楽の多様性について理解を深める													●	●	●	●	音色、リズム、旋律、テクスチャ、強弱、構成	(6)*, (7)*, (8)*

科目目標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。
内容の取扱い	<p>(1) 内容のA及びBの指導に当たっては、相互の関連を図るものとする。また、生徒の特性、地域や学校の実態を考慮し、内容のAの(1)、(2)又は(3)のうち一つ以上を選択して扱うことができる。</p> <p>(2) 内容のBの指導に当たっては、我が国や郷土の伝統音楽を含む多様な音楽文化について理解を深める観点から、適切かつ十分な授業時数を配当するものとする。</p> <p>(3) 内容の取扱いに当たっては、「音楽I」の3の(2)から(8)までと同様に取り扱うものとする。</p> <p><b>音楽Iの内容の取扱い</b></p> <p>(2) 生徒の特性等を考慮し、内容のAの(3)のア、イ又はウのうち一つ以上を選択して扱うことができる。</p> <p>(3) 内容のAの指導に当たっては、生徒の特性等を考慮し、視唱と視奏及び読譜と記譜の指導を含めるものとする。</p> <p>(4) 内容のAの指導に当たっては、我が国の伝統的な歌唱及び和楽器を含めて扱うようにする。また、内容のBのエとの関連を図るよう配慮するものとする。</p> <p>(5) 内容のAの(3)の指導に当たっては、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成することを重視するとともに、作品を記録する方法を工夫させるものとする。</p> <p>(6) 内容のBの指導に当たっては、楽曲や演奏について根拠をもって批評する活動などを取り入れるようにする。</p> <p>(7) 内容のA及びBの教材については、地域や学校の実態等を考慮し、我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽から幅広く扱うようにする。また、Bの教材については、アジア地域の諸民族の音楽を含めて扱うようにする。</p> <p>(8) 音や音楽と生活や社会とのかかわりを考えさせ、音環境への関心を高めるよう配慮するものとする。また、音楽に関する知的財産権などについて配慮し、著作物等を尊重する態度の形成を図るようにする。</p>

主な教材	題材の指導内容と学習活動	
	主な指導内容	主な学習活動
Alleluja／東京VICTORY／ハナミズキ／楓	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢や身体の使い方、呼吸法、発声法など</li> <li>曲想と歌詞の内容とのかかわり</li> <li>リズム、速度、テクスチャ、強弱、旋律の特徴などを生かした表現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢や身体の使い方、呼吸法、発声法などに気を付けて歌う</li> <li>曲想と歌詞の内容がどのようにかかわっているかを感じ取る</li> <li>自分なりのイメージをもって、リズム、速度、テクスチャ、強弱、旋律の特徴などを生かして歌う</li> </ul>
浜辺の歌／椰子の実／Funiculi-Funicula／Nel cor più non mi sento／Vaga luna, che inargenti／Après un rêve／Sehnsucht nach dem Frühlinge／Die Lotosblume	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語、イタリア語、フランス語、ドイツ語の発音と歌唱法</li> <li>曲想と歌詞の内容とのかかわり</li> <li>歌と伴奏それぞれの役割</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語、イタリア語、フランス語、ドイツ語で歌詞を読む</li> <li>曲想と歌詞が表す情景や心情とのかかわりを理解して歌う</li> <li>歌と伴奏それぞれの役割をよく理解して表現に生かす</li> </ul>
糸／Tears In Heaven	<ul style="list-style-type: none"> <li>ギターの色や奏法の特徴</li> <li>音色、リズム、旋律、強弱など、音楽を形づくっている要素の知覚と、それらの働きの感受</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ギターの色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解して演奏する</li> <li>音色、リズム、旋律、強弱など、音楽を形づくっている要素とそれらの働きの理解し、表現を工夫して演奏する</li> </ul>
ソルフェージュ／Prelude I	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボディーパーカッションの色や奏法の工夫</li> <li>アンサンブルにおける自分の役割にふさわしい表現方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボディーパーカッションの色や奏法を工夫しながら演奏する</li> <li>共通のイメージをもって、アンサンブルにふさわしい表現を心がける</li> </ul>
器楽：フラメンコのバルマ 鑑賞：世界の諸民族の音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>バルマの音色を生かした表現</li> <li>それぞれの国や地域に伝わる身振りや音楽による表現の特徴や、文化的・歴史的背景</li> <li>それぞれの国や地域の音楽の多様な表現による音楽美の感受</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バルマの音色を工夫しながら演奏する</li> <li>それぞれの国や地域に伝わる身振りや音楽による表現の特徴や、文化的・歴史的背景などについて理解を深めて鑑賞する</li> <li>それぞれの国や地域の音楽の共通点や相違点に着目し、多様な表現による音楽美について感想を述べ合う</li> </ul>
歌唱：Nessun dorma!／夢やぶれて 器楽：情景 鑑賞：パレエ(白鳥の湖)／「イタリア・オペラ史に名を残したアリアを味わおう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>パレエ、オペラ、ミュージカルそれぞれの表現の特徴</li> <li>場面の状況や登場人物の心情と、音楽表現などのかかわり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パレエ、オペラ、ミュージカルそれぞれの表現の特徴を理解する</li> <li>場面の状況や登場人物の心情などが、声や楽器、身振りなどによってどのように表現されているかを理解する</li> </ul>
Sherry／アンパンマンのマーチ／赤とんぼ／秋のあじさい／はなさくら／幼き日のアルバム	<ul style="list-style-type: none"> <li>各パートの音の重なり方や全体の調和</li> <li>楽曲にふさわしい表現方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人が主体的、積極的に歌い、各パートの役割やハーモニーを意識して合唱やアンサンブルの喜びを味わう</li> <li>共通のイメージをもって、楽曲にふさわしい表現を心がける</li> </ul>
涙そうそう／ていんさぐぬ花	<ul style="list-style-type: none"> <li>三線の音色や奏法の特徴</li> <li>音色、リズム、旋律、強弱など、音楽を形づくっている要素の知覚と、それらの働きの感受</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三線の音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解して演奏する</li> <li>音色、リズム、旋律、強弱など、音楽を形づくっている要素とそれらの働きの理解し、表現を工夫して演奏する</li> </ul>
「構成を工夫して作品をつくらう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>音素材や旋律の重ね方などによる響きの違いの感受</li> <li>イメージした全体像に合うような構成の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音素材や旋律の重ね方などによる響きの違いを感じ取り、その特徴を生かして創作する</li> <li>反復、変化、対照などの構成を工夫して、イメージをもって創造的に音楽をつくる</li> </ul>
歌唱：「長唄に親しもう」 鑑賞：歌舞伎(京鹿子娘道成寺)	<ul style="list-style-type: none"> <li>長唄の発声や歌唱法の特徴を生かした表現</li> <li>歌舞伎の表現の特徴や文化的・歴史的背景</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長唄の発声や歌唱法について学習し、表現を工夫して唄う</li> <li>歌舞伎の表現の特徴や文化的・歴史的背景を理解し、そのよさや美しさなどを味わって鑑賞する</li> </ul>
E-TEN-RAKU／ソナタ／愛のテーマ／人生のメリーゴーランド	<ul style="list-style-type: none"> <li>各パートの音の重なり方や全体の調和</li> <li>楽曲にふさわしい表現方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各パートの役割や全体の響きについて一人一人が主体的に考え、音色、フレーズ、強弱などを工夫してアンサンブルする</li> <li>共通のイメージをもって、アンサンブルにふさわしい表現を心がける</li> </ul>
「ベートーヴェンの生涯と作品をたどろう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベートーヴェンの生涯と彼が生きた時代の社会</li> <li>それぞれの創作期(初期、中期、後期など)の背景と、楽曲の表現の特徴とのかかわり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベートーヴェンの生涯と彼が生きた時代の社会について学習し、一人の作曲家の創作活動をたどる</li> <li>作曲した時期を踏まえてそれぞれの作品の特徴を聴き取り、楽曲の文化的・歴史的背景や表現の特徴について理解を深めて鑑賞する</li> </ul>
歌唱：上を向いて歩こう／糸／Amazing Grace 器楽：冬(第2楽章) 創作：「演奏スタイルを変化させよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な音楽の表現の特徴</li> <li>演奏の目的や表現形態に応じた編曲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音色やリズム、旋律の重ね方などを工夫しながら歌ったり演奏したりする</li> <li>様々な編曲の方法があることや、音楽を形づくっている要素とそれらの働きの理解し、演奏の目的や表現形態に応じて楽曲の一部を編曲する</li> </ul>
歌唱：ヒルカ ヒルカ／斎太郎節／各地に伝わる民謡 鑑賞：各地に伝わる芸能	<ul style="list-style-type: none"> <li>民謡の発声や歌唱法の特徴を生かした表現</li> <li>各地に伝わる民謡・芸能の表現の特徴や文化的・歴史的背景</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民謡の発声や歌唱法について学習し、表現を工夫して歌う</li> <li>各地に伝わる民謡・芸能の表現の特徴や文化的・歴史的背景を理解し、そのよさや美しさなどを味わって鑑賞する</li> </ul>
「民衆の音楽から世界のポピュラー音楽へ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの音楽の特徴や、音楽を形づくっている要素の知覚と感受</li> <li>それぞれの音楽の文化的・歴史的背景や、多様な表現による音楽美の感受</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>声や楽器の音色、リズムなど、それぞれの音楽を形づくっている要素について理解する</li> <li>それぞれの音楽の文化的・歴史的背景を理解し、多様な表現による音楽美について感想を述べ合う</li> </ul>